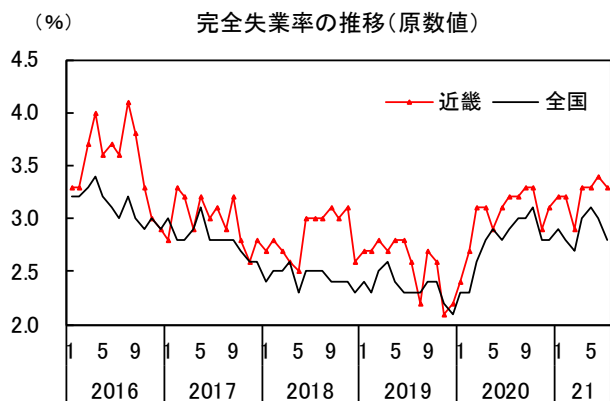
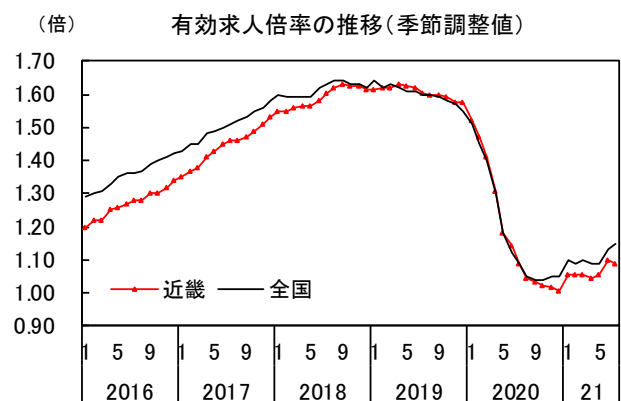


関西の景気ピックス【雇用関連（21年7月）】

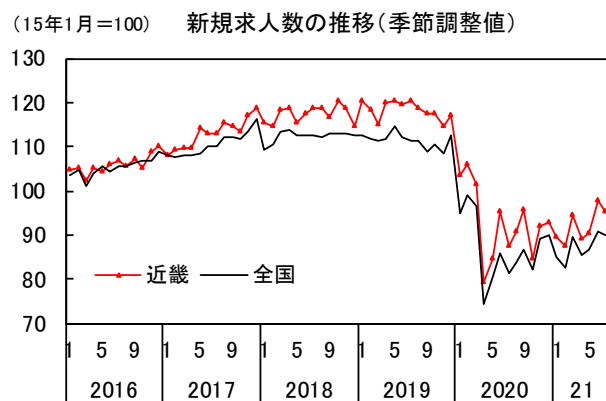
- 21年7月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.3%（原数値）と、前年比で0.1ポイントの上昇となった。前年を上回るのは4か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で13万人の増加となったほか、失業者も1万人の増加、非労働力人口は20万人の減少となった。就業者の増加は5か月連続で、失業者の増加は4か月連続。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、21年7月は1.09倍（季節調整値）と前月比で0.01ポイント低下した。
- 有効求人倍率や新規求人数の過去数か月の推移をみると、概ね底を打った感があるものの、失業率は前年比で上昇が続くなど、楽観視は許されない。賃金の動向も、直近は前年比でプラスが続いているが、2年前比では依然としてマイナスとなっている。全体的にみると、雇用情勢の本格的な回復には、まだ時間がかかると考えられる。



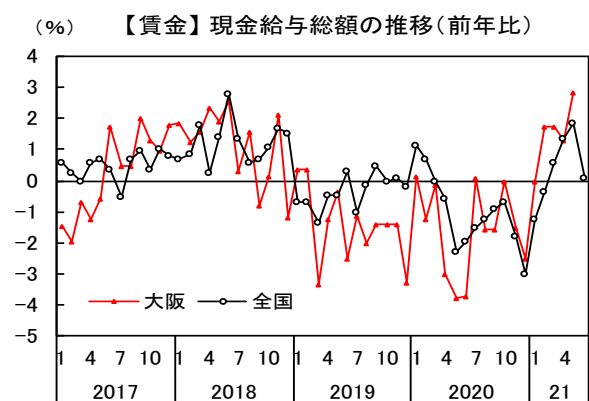
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」